

モダーンズ (1988)

THE MODERNS

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 128分

初公開日 1989/04/08

公開情報 フジテレビ=ヘラルド・エース提供/ヘラルド・エース=ヘラルド

【解説】

A・ルドルフ監督の描く、1920年代を舞台にした芸術家たちの物語。ニック・ハートはゴシップ新聞の挿絵画家。アメリカから来たこの男は、パリで成功を夢見る程には若くなかった。いつものけだるいある日の午後、ニックは、カフェの片隅で魅惑的な女を見つける。だが、その女レーチェルの横には、財産家でたたき上げの実業家ストーンがいた……。この映画には、実にたくさんの要素が詰め込まれている。文学、絵画、ファッションは勿論、ヘミングウェイ、スタイン、ピカソなどの著名な人物も多数登場して、その人物を推測する面白みもある。そして何よりも顕著なのが、ルドルフ監督の拘りだ。本作は、その全編に渡って実に完璧とも言える程、20年代というものに拘わっている。ナマの色を使わずに、挿入される当時のフィルムと違和感のない色調を保ち、その時代の人々のファッションから、身のこなし、しぐさ、目の配り方まで見事に再現している。さらに当時のパリの街の様子を、全体に貫かれたけだるい雰囲気、またそれと見事にマッチしたM・アイシャムの音楽を持って、まるで20年代のパリの“匂い”がしてきそうな位に表現しているのは、見事としか言いようのない程である。しかし、この映画には人間ドラマが余り描かれていない。映画の中で監督は、カメラに写る人間ドラマをただ切り取っているだけで、それ以上突っ込んで描こうとはしない。これは監督の、人物詩ではなく、時代詩を描くという意図によるものだと思われるが、観る人によってはそこが少し物足りない気がするかもしれない。本作は、常にモノクロとカラーを繰り返して、この時代を何度も確認させるような構造を持ち、20年代のアートを通して、現代アート、そして現代人の生き方をテーマにした、“時代の群像”に焦点をあてた作品であると言える。

【クレジット】

監督	アラン・ルドルフ	Alan Rudolph
製作	キャロリン・ファイファー デヴィッド・ブロッカー	Carolyn Pfeiffer David Blocker
製作総指揮	シェップ・ゴードン	Shep Gordon
脚本	アラン・ルドルフ ジョン・ブラッドショウ	Alan Rudolph John Bradshaw
撮影	栗田豊通	Toyomichi Kurita
音楽	マーク・アイシャム	Mark Isham
出演	キース・キャラダイン ジョン・ローン リンダ・フィオレンティーノ ジュヌヴィエーヴ・ビジョルド ジェラルディン・チャップリン ウォーレス・ショーン	Keith Carradine John Lone Linda Fiorentino Genevieve Bujold Geraldine Chaplin Wallace Shawn

ケヴィン・J・オコナー

Kevin J. O'Connor

エルサ・レイヴン

Elsa Raven